

平成23年11月22日

平成23年11月29日 太田川河川事務所



「太田川生態工学研究会 研究発表会」を開催しました!

平成23年11月22日(火)に、広島YMCAコンベンションホールにおいて「平成23年度 太田川生態工学研究会 研究発表会」を開催しました。学識者をはじめ、一般の方や企業、行政関係者など約160名が参加し、「より良い干潟環境の保全・再生に向けた調査研究」の成果報告が行われました。



既に緊急河川敷道路が整備済みの区間。場所によっては、塩生植物群落が出来ると、良い干潟環境を形成している。



研究会代表：福岡捷二教授
(中央大学研究開発機構)

将来、緊急河川敷道路の延伸計画がある太田川放水路。整備の際、干潟環境を保全・再生することを目的として、平成22年3月に太田川放水路の旭橋下流左岸に人工干潟を造成しモニタリング調査・研究を実施している。(写真はH23.9の状況)。



質疑応答では大学生からの積極的な質問もありました。



研究発表会の様子(大盛況でした)

人工干潟で確認されている貴重種たち。



フクド



スナガニ



ハクセンシオマネキ

アンケートより

- ・人工干潟でも感潮性動物が環境次第で復活する事に驚いた。
- ・今後どのように活かすのか、目的を明らかにして、レベルを上げていって欲しい。
- ・太田川放水路が治水面だけでなく、緊急河川敷道路などの防災にも使用され、改めて大切さを感じた。
- ・一般参加者には専門用語が難しかった。

沢山のご意見、感想をありがとうございました。一般参加の方への配慮、会場設備など今後の参考とさせていただきます。また、昨年に続いて聴講した、という意見も多く、皆さまの環境への意識の高さを感じました。引き続き調査・研究をすすめ、次の発表会では更なる成果をお伝えしたいと思います。

太田川生態工学研究会とは?

「太田川生態工学研究会」は、放水路の海水と淡水が混じり合う汽水域の生態系や自然環境の把握を行い、海と川をつなぐ放水路が有する潜在的な環境の保全や再生を目指して調査・研究を行うために平成16年度に設置されました。研究会は、放水路の環境について調査研究を行うため、河川、水質、植物、生物など、それぞれの専門分野によるワーキンググループで構成されています。



聴講のため、会場に足を運んでくださった皆さま、どうもありがとうございました!